

学校だより



学校だより 10月号
令和3年10月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

身の回りも心もきれいに

校長 稲垣 一郎

先日、そうじの時間に階段を歩いていると、雑巾を片手に階段やその外側の汚れを一生懸命に拭いている中学年児童がいました。膝をついて一段一段念入りに磨いていました。校長室前では、低学年児童が並んで長い廊下を何度も往復して雑巾がけをし、児童玄関や体育館玄関では、高学年児童が大きなマットをみんなでずらし、箒を両手でしっかり持って隅々まで掃いていました。この日に限らず、本校では掃除を頑張っている児童たちの姿をたくさん見ることができます。一生懸命掃除に取り組む姿は、本当に清々しいです。

日本の学校で当たり前のように行っている清掃活動ですが、世界的に見ればごく一部の地域の習慣だそうです。欧米の学校では、ほとんどの場合、仕事として清掃員の方が掃除をしていて、児童が掃除をする習慣はあまりないそうです。一方、日本の学校で清掃活動を大切にしているのは、大きな教育的意義があると考えられているからです。本校でも、学級や学年に割り当てられた場所をみんなで掃除します。一人ではできない広い場所ですから、役割分担をしたり、協力して作業をしたりすることで「協働性」が高まります。また、掃除道具をどのように使って掃除をすれば、素早くきれいにできるかという「段取力」や小さな汚れや細かいゴミを見つける「気づき力」を育てると考えられます。また、身の回りをきれいにする習慣を身に付けながら、一生懸命に働くことの気持ちよさを感じることで、よりよく生活していくための態度や心情が育まれます。このような毎日の積み重ねが、暮らしやすい日常生活を築いていく基盤となっていくのだと思います。

お笑い芸人で映画監督でもある北野 武さんは、自分が成功したのは「トイレ掃除」をしてきたからだと話しています。若いころ、師匠に“トイレを綺麗に掃除しろ”と言われてから30年以上、ずっとトイレ掃除をやり続けてきたそうです。家電メーカーの創設者である松下幸之助さんも、長年トイレ掃除を続けられていたと聞きます。さらに、自動車メーカーの本田宗一郎さんも掃除を大切にされたそうです。どの分野にも共通して、毎日コツコツと掃除を続けることが、その道で大成するのに大切なようです。

外日角小学校では、教職員も一緒に掃除をします。そのことで、学校全体に一体感も生まれます。一緒に掃除をしながら、自分たちの身の回りも自分の心もピカピカに磨いて、気持ちよく毎日を過ごしていきたいと思っています。

「健康チェック表」についてのお願い

毎朝の検温と健康観察を継続してお願いいたします。毎朝必ず、登校する前に検温を済ませ、記録した表を持たせていただきますよう、あらためてお願いいたします。お子様に熱や頭痛、せきなど、かぜのような症状が見られた場合、ご兄弟の健康状態にも普段以上に留意してください。ご兄弟について、登校させるかどうか判断に迷うことがありましたら、発熱したお子様の欠席連絡の際に、学校にご相談ください。

教育ウィーク

11月4日（木）5日（金）は学校公開日です。2限目～4限目である9：25～12：10を参観時間とします。この機会に、普段の学校生活の様子をご覧いただきたいと思います。

なお、感染症拡大防止のため、今回も時間や人数を制限させていただく可能性があります。詳細については、10月初旬にお知らせします。参観人数につきましては、1週間前の状況に応じて判断し、お知らせします。

マラソンチャレンジ・マラソン記録会

本年度は、10月11日（月）～11月2日（火）の期間中、長休みに持久走練習「マラソンチャレンジ」を行います。各自の体力にあわせてめあてを設定し、走る楽しさや達成感を味わいながら持久力を高めてほしいと考えています。また、11月9日（火）には「マラソン記録会」を予定しています。学校の運動場において、低学年は4分、中学年は5分、高学年は6分以内で何周走ることができるかを記録します。保護者の参観方法につきましては、10月初旬にお知らせします。



秋は過ごしやすく、集中して読書を行うにはとてもよい季節です。わくわくしながら本を選び、本の世界に浸り、言葉や表現に感化され、自分の心に向き合うよい機会にもなります。毎月の「うちどく&メディアコントロールチャレンジ週間」をよい機会として、読書に取り組んでみてください。